

一宮市立市民病院腎臓内科・血液浄化センターに通院中または過去に通院された
患者さん

またはご家族の方へ

腎臓内科・血液浄化センターの臨床研究に御協力をお願いいたします。

現在、「透析排液を利用した透析量モニタ（DDM）を用いた希釈方法の違いによる透析効率の評価」に関する臨床研究を実施しております。
このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	透析量モニタ（DDM）を用いた希釈方法の違いによる透析効率の評価
所属（診療科）	腎臓内科・血液浄化センター
研究責任者（職名）	腎臓内科部長・血液浄化センター長 新田華代
研究実施期間	倫理委員会承認日～2025年12月31日
研究の意義・目的	本邦では85%以上症例で前希釈オンラインHDFが選択されている。一部の施設では透析効率を補うために総透析液流量（TQD）を増加して対応しているが水処理装置への負荷や医療経済コストが増大する可能性があり、また透析治療における環境問題も指摘されており最小限の透析液で最大限のパフォーマンスを期待できる後希釈オンラインが再度注目されつつある。後希釈オンラインHDFの小分子量物質の除去の有用性が示すことができれば、後希釈へのさらなる普及が期待できる。
対象となる患者さん	当院外来維持透析患者
利用するカルテ情報	・検査データ（装置データ含む）・患者情報（年齢、性別等）
研究方法	診療データを基にした後向き観察研究
問い合わせ先	一宮市立市民病院 腎臓内科 〒491-8558 愛知県一宮市文京 2-2-22 電話：（代表）0586-71-1911

既存の臨床記録（カルテ記録）、検査結果を研究・調査・集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。
カルテ情報の利用に同意をお願いいたします。
利用する情報からは、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。
研究成果は今後医学の発展に役立つように学会発表・論文投稿等に用いますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
この研究に御自身の診療記録等を利用することをご了承いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡下さいますようお願いいたします。